

『文壇』について

みなさんは、小学校、中学校、高校と十二年にわたって国語の学習をしていきますが、その間、不思議なことに「正しい書き言葉」を学ぶ機会がありません。したがって、書くのが苦手という人が多いのも仕方がないことなのです。本テキストは、一生の財産になるであろう、「正しい書き言葉」を一人から学習できるようにできています。志望理由書や小論文を書く予定の高校生はもちろん、中学生や大学生として、社会人も一歩ずつステップを上るように学べる内容になっています。よって、このテキストを終えるころには、雑誌を読んだり、ネット記事を読んだりしたときに「おかしな日本語」の乱用に気づくようになるでしょう。

これからの時代、受験はもちろんのこと、社会にでてからも「記述」がますます重視されていきますから、『文壇』の学習をおして、これからの時代に求められる「記述力」を養成していただろう。

では、みなさん……ひとつひとつの問題を解き、最後まで諦めずにテキストを終わらせていただろう。

目次

第1章 文章は「書き言葉」で書く

- ① 接続詞の書き言葉
- ② 助詞の書き言葉
- ③ 副詞の書き言葉

第2章 くだけた表現に注意する

- ① 流行り言葉やスラングを使わないこと
- ② こまかしの表現を使わないこと
- ③ 安易な省略語は使わないこと

第3章 文法の誤りに注意する

- ① いら抜き言葉を使わないこと
- ② い抜き言葉を使わないこと
- ③ ねずみ言葉を使わないこと
- ④ さ入れ言葉を使わないこと
- ⑤ 副詞の呼応を守る
- ⑥ 並列助詞の法則を守る

第4章 言葉の誤りに注意する

- ① 間違った意味で使われる言葉
- ② 間違って使われる言葉
- ③ ひらがな言葉の誤りに注意すること
- ④ 重言を使わないこと
- ⑤ 熟語の漢数字をアラビア数字にしないこと

第5章 ひらがなで書くべき言葉

- ① 形式名詞はひらがな
- ② ひらがなを使う動詞・補助動詞
- ③ 修飾語
- ④ 接続詞・接続助詞の大半はひらがな
- ⑤ その他（ひらがなのほうが無難な言葉）

第6章 その他の文章ルール

- ① 一文の中で同じ言葉を何度も使わない
- ② 主述のねじれに気をつける
- ③ 述語の欠落に気をつける
- ④ 接続詞を正しく使う
- ⑤ 語尾を工夫する

第1章 文章は「書き言葉」で書く

作文や論文などの正式な文章を書くために、まず覚えていただくことが、**文章は原則として「書き言葉」を使用し書く**、ということです。

私たちが普段なにげなく使っている日本語の中には、ロビ「話す」ときは使用してませんが、文章として「書く」ときは原則として使用しないほうが良いと、よくわかる言葉が数多くあります。これらは一般的に「話し言葉(話すための言葉)」と呼ばれています。

ところが、実際はいろいろな文章の原則を守っていない、あるいは意識していない学生が多く存在します。学生の書いた作文や論文を読んでいると、文章の中に不適切な「話し言葉」を使用しているケースが非常に目立ちます。

これは実にもったいないことです。**たとえ文章の内容としてはおもしろかったとしても、不適切な「話し言葉」が多用されていると、全体が一気に稚拙な印象になってしまう**からです。**受験用の作文や論文の場合にはその点深刻**です。イメージダウンだけにとどまらず、明確な**減点対象**になってしまいます。

もちろん、これはあくまで原則のため、当然ながら例外もあります。

たとえば会話をめらわす鍵カッコ(「」)の中の文章がそうです。これに関しては「話し言葉」を使用して良いとされています。会話文なのですから、当然のことです。

また、プロの作家やジャーナリスト、ライターなど書いた文章の上級者になると、読者によりの正確なニュアンスを伝えたり、読者をより楽しませたりするために、「書き言葉」を基調とした文章の中にも、いくつかの「話し言葉」を散りばめることがめざされます。しかし、それは高度な応用技術であるため、学生にはおススメできません。基本的に正しい「書き言葉」を学習し、その応用で取り組むだけが良いと考えられます。

学生の書いた作文や論文を読んでいると、とりわけ**接続詞・助詞・副詞(それらで準備せぬ言葉や助詞)**の正しい使用が、文章にならなかつたり、あるいは「話し言葉」が数多く使用されている場合があります。あるいは、正しい使用が正しく「書き言葉」を意識する機会が少なかつたりします。

だからといって、学生にとっては注意が必要ですが、**接続詞・助詞・副詞(それらで準備せぬ言葉や助詞)**の正しい使用。そしてその正しい「書き言葉」を意識して学習し、その後、続く論理展開に取り組みたいのです。

第1章 文章は「書き言葉」で書く

問題1：次の①～④の文章には、それぞれ「話し言葉」がいくつ含まれていますか。それらを「書き言葉」に訂正して、全文を書き直してください。

①夜道は見通しが悪いから危険だ。なので、自転車のライトはつけておきましょう。

②電車のダイヤが大きく乱れていた。それで、バスに乗ることにした。

③震度六の地震が発生した。でも、我が家は無事だった。

④まったくテスト勉強をしなかった。けど、テストの結果は良かった。

⑤わたしは牛乳が苦手だ。けれど、ヨーグルトなら食べることが出来る。

⑥時間がない。なのに、宿題を今日中に終わらせなければならぬ。

⑦明日はカレーライスを食べたい。それか、クリームシチューでもうれしい。

⑧今日はお風呂に入ってはいけない。だって、熱があるのだから。

⑨シンデレラは美人でスタイルが良い。しかも、おしゃれだ。

⑩父が運転する車で長いトンネルを通過した。そしたら、遠くに富士山が見えてきた。

⑪彼は優秀な医者だ。あと、有名な小説家でもある。

⑫野球をするための主な道具はグローブとボールだ。それと、バットも必要だ。